

平成30年度 東京都環境科学研究所

公開研究発表会

- 日 程 平成31年1月10日（木）
13時00分～17時10分
- 場 所 都民ホール（都庁 都議会議事堂1階）
- 人 数 先着250名

予約不要！
参加無料！

日頃の研究成果を研究員が発表します！

特別講演

植物の香り成分が大気汚染を招く可能性
ーテルペン類と大気環境の相互作用ー



静岡県公立大学法人 静岡県立大学 教授 谷 晃 氏

プログラム

13:30～13:35	開会挨拶	東京都環境科学研究所	所長	中村 豊
13:35～14:30	特別講演 「植物の香り成分が大気汚染を招く可能性 ーテルペン類と大気環境の相互作用ー」	静岡県公立大学法人 静岡県立大学	教授	谷 晃 氏
14:30～15:00	「東京都心で排出される植物由来VOCの実態把握 ー樹木のテルペン類放出に着目してー」	環境資源研究科	研究員	國分 優孝
15:10～15:40	「分析精度管理とは？ー環境測定データの信頼性を確保するー」	環境リスク研究科	研究員	根本 忠浩
15:40～16:10	「都内における暑熱環境の実態と都市高温化への備えについて」	環境資源研究科	研究員	常松 展充
16:10～16:40	「都内事業所の省エネルギー推進に向けた研究について」	次世代エネルギー研究科	研究員	藤井 康平
		//	研究員	片野 博明

※上記以外の研究成果等は都民ホール前ロビーにてポスターを展示しています。
(13:00～13:30、16:40～17:10は研究員が解説します！)

発表内容の詳細は裏面でご確認ください

問い合わせ

公益財団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所 研究調整課 研究調整係（広報担当）
TEL：03-3699-1333 FAX：03-3699-1345
E-mail：kanken@tokyokankyo.jp HP：https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/

主 催：東京都環境局

実 施：公益財団法人 東京都環境公社
東京都環境科学研究所

発表詳細

<p>特別講演</p> <p>13:35 ～ 14:30</p>	<p>植物の香り成分が大気汚染を招く可能性—テルペン類と大気環境の相互作用—</p> <p>静岡県公立大学法人 静岡県立大学 教授 谷 晃 氏</p> <p>植物は体内で様々な物質を合成していますが、揮発性のものは大気へ放出されます。その中でも植物の香り成分であるテルペン類の放出量は非常に多いです。本講演では、テルペン類の多くが大気中で高い反応性を持ち、光化学オキシダント濃度を高く維持する方向に働く可能性があることを示します。また、気候変動がテルペン類放出量に及ぼす、予想される影響を解説します。</p>
<p>研究発表</p> <p>14:30 ～ 15:00</p>	<p>東京都心で排出される植物由来VOCの実態把握—樹木のテルペン類放出に着目して—</p> <p>環境資源研究科 研究員 國分 優孝</p> <p>近年の東京では、光化学スモッグの原因である窒素酸化物とVOCの排出量が減少しているものの、依然として光化学スモッグ注意報が夏季に多く発令されています。当研究所では、光化学スモッグのさらなる要因の一つとして、植物由来のVOCに着目し、その都内放出量の実態調査を行ってきました。その調査結果について報告します。</p>
<p>研究発表</p> <p>15:10 ～ 15:40</p>	<p>分析精度管理とは？—環境測定データの信頼性を確保する—</p> <p>環境リスク研究科 研究員 根本 忠浩</p> <p>東京都環境局では、水質汚濁防止法等に基づく河川や東京湾などの水質監視及び工場等からの排水の水質規制に関わる分析を、民間業者に委託して実施しています。当研究所では、同一試料の分析などによりこれらの分析結果の信頼性を確認しており、これを分析精度管理と呼んでいます。本報告では、分析精度管理の具体的な方法について紹介します。</p>
<p>研究発表</p> <p>15:40 ～ 16:10</p>	<p>都内における暑熱環境の実態と都市高温化への備えについて</p> <p>環境資源研究科 研究員 常松 展充</p> <p>都区部のオフィス街や商業地では緑化等による暑熱環境改善効果が現れている一方、木造住宅密集地域(木密)の環境改善が課題であることが、航空計測等からわかりました。さらなる都市高温化への備えとして、熱中症発症が多いとみられる木密の暑熱対策を検討する必要があります。その一環として行った調査研究の結果について報告します。</p>
<p>研究発表</p> <p>16:10 ～ 16:40</p>	<p>都内事業所の省エネルギー推進に向けた研究について</p> <p>次世代エネルギー研究科 研究員 藤井 康平 // 研究員 片野 博明</p> <p>省エネルギーは地球温暖化対策のなかでも優先すべき取組の一つです。しかし、特に中小規模事業所ではあまり省エネが進んでいません。本研究では、都内事業所から提出されたエネルギーデータをもとに、事業所用途ごとのエネルギー消費傾向の把握や省エネポテンシャルの推計を行い、今後の省エネ対策のあり方について考えます。</p>

ポスター発表

- ・大型使用過程車からのVOC排出に関する調査
- ・事業系一般廃棄物中の食品ロス排出状況調査
～スーパー、コンビニなどから捨てられる直接廃棄食品～
- ・東京湾における貧酸素化及び富栄養化に関する研究 ～底泥の酸素消費とリン溶出との関係～
- ・東京都内を流れる河川における生活由来化学物質の生態リスク評価
- ・中小規模建物等における水素蓄電を活用したエネルギーマネジメント

13:00～13:30、16:40～17:10
ロビーにて研究員が解説します！

アクセス

- 各線新宿駅 西口から徒歩約10分
- 都営大江戸線都庁前駅 A3出口直結

※ご来場にあたっては、公共交通機関をご利用ください。

